

# 2022年度 第1回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会 タイムテーブル

【日時】 2022年5月14日(土) 13:00-17:10(予定)

【場所】 ZOOMによるオンライン開催

## 【タイムスケジュール】

12:00 受付開始

12:30 にいがた摂食嚥下障害サポート研究会会員総会

13:00 開会挨拶

井上 誠先生(にいがた摂食嚥下障害サポート研究会会長)

13:05 摂食嚥下治療登録医研修 症例報告(10分×3名)

座長 那小屋公太先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

「脳血管疾患の既往がある在宅要介護高齢者に対し、摂食嚥下リハビリテーションにて介入した一例」

寺尾浩子先生(寺尾歯科医院, 新潟市)

「歯科外来においてVE検査によって咽頭期精査に努めた症例」

星野喜郎先生(いいじま歯科クリニック, 新発田市)

「地域在住の摂食嚥下障害患者に対し、摂食嚥下リハビリならびに歯科的介入を行った一例」

高野隆一先生(高野歯科医院, 新潟市)

13:40 講演1「痩せたら嚥下障害になった?サルコペニアの摂食嚥下障害の成因と対応法とは」

(40分講演, 10分質疑)

座長 辻村恭憲先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

講師 森 隆志先生(言語聴覚士, 総合南東北病院)

14:30 講演2「全身性のサルコペニアからみた嚥下障害と身体的リハビリテーション」

(40分講演, 10分質疑)

座長 辻村恭憲先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

講師 井上達朗先生(理学療法士, 新潟医療福祉大学)

15:20 企業紹介

15:50 講演3「新潟県県央地域における医療再編と摂食嚥下サポートへの期待」

(60分講演, 10分質疑)

座長 井上 誠先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

講師 遠藤直人先生(医師, 燕労災病院)

17:00 次回講演会にむけて

井上 誠先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

17:10 閉会挨拶

辻村恭憲先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

## 講演要旨および講師略歴

### 「痩せたら嚥下障害になった？サルコペニアの摂食嚥下障害の成因と対応法とは」

森 隆志（もり たかし）先生

（総合南東北病院 口腔外科 摂食嚥下リハビリテーションセンター，言語聴覚士）

#### <抄録>

サルコペニアの摂食嚥下障害は、嚥下リハ患者の約 1/3 に見られる全身及び嚥下関連筋群のサルコペニアによる摂食嚥下障害である。診断法の妥当性と信頼性は検証済みである。治療には理想体重を基準に 1 日 30kcal/kg/day 以上を投与する積極的栄養療法と抵抗運動を含むリハが有用な可能性がある。超音波検査装置を用いた嚥下関連筋の筋肉量や嚥下運動の解析方法が研究開発されており、診断法の発展が見込まれている。

#### <略歴>

1996 年 同志社大学 法学部政治学科卒業

2002 年 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚科 卒業

2019 年 東北大学大学院 肢体不自由学分野 卒業 博士号取得

2002 年 榊記念病院

2005 年 総合南東北病院（現職）

日本リハビリテーション栄養学会 理事，日本臨床栄養代謝学会 評議員，日本嚥下医学会 評議員  
日本サルコペニア・フレイル学会 評議員，認定言語聴覚士，NST 専門療法士，日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士，日本リハビリテーション栄養学会指導士

### 「全身性のサルコペニアからみた嚥下障害と身体的リハビリテーション」

井上 達朗（いのうえ たつろう）先生

（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科，理学療法士）

#### <抄録>

全身性のサルコペニアと嚥下障害の関連が注目を集めている。入院契機が食べる障害でなくても、侵襲や不必要な安静が原因で全身の骨格筋量が減少し、嚥下障害を発症することがある。一方で、嚥下障害を有する高齢患者に対する身体的リハビリテーションが嚥下機能を改善させることが報告されている。身体的リハビリテーションは、サルコペニアが原因の嚥下障害の予防・治療に重要な役割を担っている可能性がある。

#### <略歴>

2013 年 4 月・2020 年 3 月 神戸市立西神戸医療センター 理学療法士

2019 年 3 月 神戸大学大学院保健学研究科 博士課程後期修了(博士:保健学)

2020 年 4 月 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 講師(現職)

日本栄養・嚥下理学療法研究会 理事，日本老年療学会 理事，日本臨床栄養代謝学会 学術評議員  
日本リハビリテーション栄養学会 代議員，日本骨粗鬆学会 骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員

## 「新潟県県央地域における医療再編と摂食嚥下サポートへの期待」

遠藤 直人（えんどう なおと）先生  
（新潟県立燕労災病院長，医師）

### <抄録>

新潟県県央地域は5市町村からなる人口22万人弱の地域である。今後の見通しでは地域内の総人口は減るものの、75歳以上の高齢者数は減少しない。高齢者に見られる疾患やADL障害への対応が必要であり、そのためには医療から介護，福祉までの円滑な協働と連携が必要である。高齢者における摂食嚥下機能の回復および維持は重要な問題であり、病院内だけではなく地域の歯科医を含めての医科歯科連携が大きな役割を果たすものと期待される。

### <略歴>

- 1980年3月 新潟大学医学部医学科卒業
- 1987年3月 新潟大学大学院修了 医学博士
- 1990年2月 米国留学（メルク社，ポスドク）
- 1993年2月 新潟大学医歯学総合病院 整形外科 助手
- 1999年4月 新潟大学医歯学総合病院 整形外科 講師
- 1999年11月 新潟大学大学院医歯学総合研究科機能再建医学講座整形外科学分野 教授
- 2020年4月 新潟県立燕労災病院 副院長
- 2021年4月 新潟県立燕労災病院 病院長